

# 企業訪問 循環型最前線レポート

(有) アイミ

## 30歳で社長を継ぐ 2〜3年後には自分の カラーを出していきたい

(有) アイミ



有限会社 アイミ

■代表者／石川太一

■所在地／碧南市栗山町3-43

TEL.0566-41-4326 FAX.0566-42-5472

地球環境保全のために循環型社会の実現に向けて環境対策の開発に力を注ぐ(有)アイミの、特にこれまで単純焼却していた廃プラスチック類、廃古紙など企業活動によって生まれる廃棄物を原料とした固形化燃料RPF(Refuse Paper & Plastic Fuel)にリサイクルし、再び企業に提供する循環システムは、環境保全のために大きく貢献しています。

業務内容は、鉄、非鉄スクラップ回収、産業廃棄物収集運搬、産業廃棄物中間処理、一般廃棄物収集運搬、廃家電回収(テレビ・洗濯機・衣類乾燥機・冷蔵庫・エアコン)の会社です。



石川太一社長

就任して1年、今年で30歳になる石川太一社長は「現在生産しているRPFは1日に6〜7トンで、製品は王子製紙のボイラーの燃料に使用されています。カロリーは王子製紙からの要望で5,000キロカロリー以上となっていて、廃プラスチック類、木くず、紙くずの投入割合は、その都度考えて調整しています。

工場内は、分別された廃プラスチック類、木くず、紙くずを破砕機に投入する重機オペレーターと、破砕したものをRPF製造機に投入するリフトドライバー、それに事務員の3人体制で、現在は8時間稼働し、残業はありません。第2土日は連休でリフレッシュしています。」と業務内容と体制を説明してくださいました。「私は3代目になります。初代は鉄く

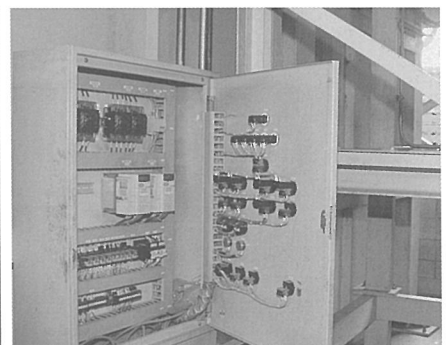
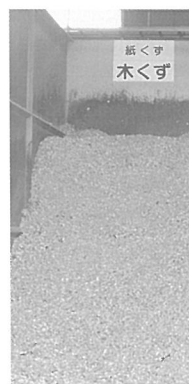


廃プラスチック類を破砕機に投入

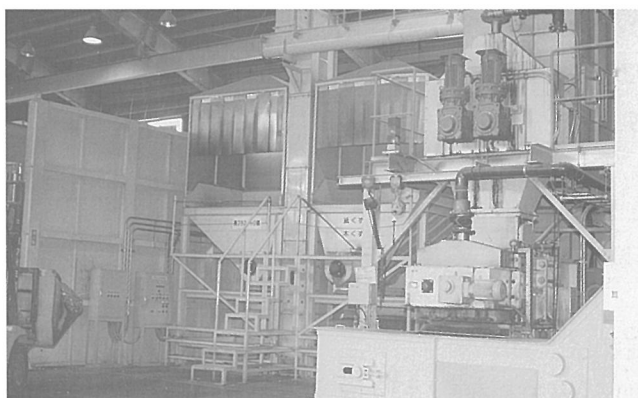
ず屋で愛美金属の屋号で立ち上げ、先代の2代目がアイミに改称しました。現在は社員30名です。社長に就任してから1年が経とうとしています。いまはまだ親父の創った路線を歩いている状態ですが、2~3年後には自分のカラーを出していきたいと思っています。現在は厳しい経済状況で製造業も元気がなく、荷（廃棄物）が減少しているのが現状ですが、未来の子どもたちが永遠に共生できるきれいな環境を引き継ぐことを実現するため頑張っていきたいと思っています。これは当社の理念でもあります」とハニカミながら話してくださいました。この優しい笑顔の奥には、目標に対して真摯に取り組む頑固さがあることが、お話の端々で伺えました。この性格

は先代譲りということです。その先代の現在のお話を聞いてみると「あとは任せる…と引退してから親父は一切口を出しません。現在は好きな農業にのめり込んでいて、あちこちにある田んぼを耕して米作りを楽しんでいます。今年も親父が作った新米を食べましたよ」と目を細める。

（有）アイミにお邪魔して目につくのは、社屋、工場、車両のすべてが黄色に統一されていることです。「黄色はうちのコーポレートカラーなんです。黄色は人間にとって一番目につきやすい色と言われています。目につきやすということは目立つ。目立つということは車両にしても人からの目があるため会社を背負って走っているという意識が芽生えると思います。目立つだけでなく、ちょうどいい緊張感を持って業務ができていると感じています。」と若き社長の力強い言葉と熱い信念でさらなる飛躍が期待できる（有）アイミ、今後の活躍を期待しています。



材料の割合とカロリーを常に制御



RPF製造機



収集運搬車両